

## 令和元年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 2月予報

### 【イチゴ】ハダニ類

今年の冬は、平年よりも気温が高く推移し、今後も高い見込みです。現在は発生量が少なくてもハウス内は暖かく、発生量の増加が見込まれます。低密度時には、発生に気付きにくいいため、葉の裏をよく観察し、発生量が増加する前に防除を行ってください。

### 【トマト】コナジラミ類

施設内に設置した粘着版への誘殺数は平年並に推移していますが、本年は気温が高く発生量が早くから増加すると見込まれます。施設内をよく見回り、施設内の除草と防除を徹底し、春先の増加を抑えましょう。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(2月)

作物	病害虫名	2月(予測)	発生状況及び今後の予測	1月(発生量)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。枯死した花卉や果梗部での発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>灰色かび病</b> 枯死した花卉や果梗部、発病部位は見つけしだい除去し、被害の発生を防ぐ。</li> <li>・<b>ハダニ類</b> 古葉や果柄などを除去し、薬液が葉裏まで十分かかるよう丁寧に散布する。同一系統の連用は避ける。</li> </ul>
	うどんこ病	少	調査ほ場では発病は認められない。気温が発生適温を下回るため、増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	並	調査ほ場で発生が認められる。今後気温の上昇とともに発生が増加すると予測される。	やや少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場では発生は認められない。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
トマト	灰色かび病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。葉先枯れや枯死した花卉での発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>コナジラミ類</b> 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。</li> </ul>
	コナジラミ類	やや多	調査ほ場で発生が認められる。今後気温の上昇とともに発生が増加すると予測される。	並	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。罹病性品種は発生に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>べと病</b> 過湿時には発病が助長されるため、送風機などを利用し、通風を良くする。</li> <li>・<b>アザミウマ類(ミナミキイロ)</b> 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。</li> </ul>
	うどんこ病	並	調査ほ場で発病が認められる。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	並	
	べと病	やや少	調査ほ場では発病は認められない。降水量は平年より多いと予想されており、発生が増加すると予測される。	少	
	アザミウマ類	少	調査ほ場では発生は認められない。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場では発生は認められない。気温が発生適温を下回るため、急激な増加はないと予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種: イチゴ(濃姫・美濃娘)、トマト(CF桃太郎J:葉かび病耐病性)、キュウリ(極光:褐斑病耐病性)

### イチゴ ハダニ類

ハダニ類は、気温の上昇とともに生育スピードは速くなり、発生初期の防除を怠ると急激に増加します。下葉で増殖したハダニが、新葉の展開に伴い、上位葉に移動し加害すると、新葉にカスリ状の白い斑点が現れます。また、多発すると株はハダニの吐く糸で覆われ、しまいには枯死します。

低密度時には葉裏に生息し、カスリ症状も現れず、発生に気がつきにくいいため、よく観察し、発生に注意してください。

また、ハダニ類の発生が確認されたら、葉裏に薬液がかかるよう丁寧に防除を行ってください。



図1 カスリ症状



図2 クモの巣状態(多発時)

### 数値データ

(調査: 岐阜・西濃地域1月)

作物	病害虫名	単位	本年度	平年
イチゴ	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
	うどんこ病	(発病果率)	0	(0.0)
	ハダニ類	(寄生株率)	10.7	(15.7)
	コナジラミ類	(寄生株率)	0	(0.4)
トマト	灰色かび病	(発病果率)	0	(0.0)
	灰色かび病	(発病株率)	0	(0.0)
	コナジラミ類	(誘殺頭数)	1.0	(1.1)
キュウリ	褐斑病	(発病葉率)	0	(0.0)
	うどんこ病	(発病葉率)	0.2	(0.2)
	べと病	(発病葉率)	0	(0.0)
	アザミウマ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)
	コナジラミ類	(寄生頭数/葉)	0	(0.0)

注1) イチゴは3ほ場、トマトは3ほ場、キュウリは2ほ場の調査

注2) ( )内数値は平年値、単位は株率・果率・葉率は%、頭数は頭

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板1枚あたりの誘殺数(調査期間: 1/1~1/14)

### ＝施設栽培の病害虫防除について＝

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

### 東海地方1カ月予報(名古屋地方気象台 1月30日)

向こう1カ月の平均気温は平年より高く、降水量は平年より多く、日照時間は平年並〜少ない予想です。平年と比べ晴れの日が少ない見込みです。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/sangyo/nogyo/gifu-clean/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767